

# やまがら

2017年  
秋号  
No.28

松山市議会議員  
梶原ときよし



やまがら(山雀)

毎年、冬には自宅に来てくれます。

## 一人ひとりが大切にされる 人間尊重社会を実現しよう。

- 官民癒着や税金の無駄遣いをやめさせ、多くの若者を安定雇用につなげよう。
- 教育と子育て予算の増額と、医療・介護・福祉を充実させる市政に転換しよう。
- 電車・バス・フェリーのシルバーパスを実施して元気な高齢者が活躍するまちにしよう。
- 伊方原発をやめて、自然エネルギーの転換を促進しよう。(PPS電力の利用促進)
- 命、人権、環境、平和を大切に、子どもたちに安心未来を引き継ごう。



発行・梶原ときよし

### 余りにもひどい!!税金使い放題の松山市幹部職員特権天国!

こんにちは。  
昨日、9月議会は終わりました。終了後に野志市長の心情が透けて見える情けない行動がありました。地方自治の市政は議員内閣制の国政とは違い、二元代表制を敷いています。つまり市民から選ばれた市長は市の職員・執行部(理事者)を使い、予算を含め市民のための政治を行う役割が有り、一方、市議会議員も直接市民から選ばれ議事を構成して市長の政治執行をチェックする役割を持っています。

つまり市議会議員の大きな役割は、市長が市民のための政治を忘れ、利権や私利私欲に暴走しないように、監視をしていく事が二元代表制のあるべき自然の姿なのです。  
前置きはそのくらいにして昨日の野志市長の行動は、9月9日の愛媛新聞で小さく報道もされていますが、議会最終日恒例の(市民のための議場の議案審議が終わって議案が通ったお互いのための)挨拶行動を、ことあるに野志市政の失政を糾した梶原所屬の「ネットワーク市民の窓」会派には挨拶をしないということを、理財部長を通じて言ってきました。  
恒例の挨拶の是非はさておき、松山市議会史上初めてのことではないかと思えます。  
維新・公明他、与党系といわれている議員が過半数を占め、議会で、質問というよりは、「野志さんは頑張っている!よくやっている!見習いたい!」

てなことばかりを毎回毎回並べるので本人がついその気になって、切り返すので答弁は部長にさせて逃げるが、「子育て世代や、一人親世帯など一懸念に生きるのが厳しい市民」には本当に冷たい野志市長の政策を暴露され、事実追及をしたことが気に入らなかつたようです。  
情けないやら、ガキンコ市長のガキンコ政治では、市民は救われません!!喜んでいるのは、それを操る鬼門の政治家と政治利権に群がる金の猛者達!

はつきり言って税金を払うのが嫌になります!!  
理由は少しだけ述べますね。  
今議会で梶原は市職員幹部の公金詐取とカラ出張事件を追及しました。取賄容疑の他、公金詐取とカラ出張が疑われている元幹部職員の出張記録簿1200枚を情報公開請求を行って調べたところ、出るわ出るわ、不要な出張!カラ出張!同伴出張!おまけに、ほとんどの出張は行ったかどうか?確認する証拠がない!  
予讃線・新幹線・スーパージェットその他、領収書など一枚の添付もありません!ええ?!宿泊費の領収書もなしで、税金をバンバン使い放題払い放題の現状。  
(飛行機のバックのみあること???)  
こんな管理状態だから、それは不正もしますよ。残念だけど!

※不正の温床は市長の責任ですよ!!  
優しく言っても、厳しく言っても、税金詐取を許すことは出来ません!!  
まさしく市職員幹部に操り人形にされている市長が情けなくなりました!!  
(7年も市長をしていて何をしていたのか?と言いたくなります!!)  
即刻、領収書なしでは公金支出はしない体制にすることを、議会で求めました!!  
が、市長はすると言いませんでした!!

市職員幹部の特権を失いたくないようです。こうなったら、この一点だけでも市民みんな声を上げませんか!!  
●税金の詐取はやめろ!!  
●領収書なしで公金を出すな!!  
●一人で充分な出張に大勢で行くな!!  
●ましてや同伴出張旅行などもっての外だ!!  
あー!もう私も疲れました。  
最後にもう一言申し上げます  
が、市民は、少ない年金や厳しい生活費の中から、税金を払っています。  
その大切な税金から職員の給料や必要経費、或いは出張費が支払われている以上、市民のために正しく仕事をした証明をするのは皆さんの義務で有り、責任です!!  
9月9日 梶原ときよしのブログより

#### 2017年9月議会一般質問

ネットワーク市民の窓 梶原ときよし

#### JR松山駅鉄道高架化事業386億円の無駄遣いをやめて、松山駅舎の建替えと鉄道平面化を急げ!!

ネットワーク市民の窓の梶原時義でございます。  
2017年愛媛国体が始まりますが、本市の玄関でもあるJR松山駅は、再開発の影も形もなく市民と約束した開会に間に合いませんでした。  
高松駅や徳島駅のように高架にはせず平面で松山駅を考えていけばとつくに完成していたのに、残念に思うのは私だけでしょうか。  
1時間に数本の列車しか走らない予讃線に前後2キロにわたる必要もない高架化事業計画が、莫大な建設費用を呼び、喜ぶ土木業者や政治家とは裏腹に、市民の借金は膨らみ、利便性は遠のくばかりです。今からでも遅くはありません。  
今すぐ高架化事業計画をやめて、386億円の税金の無駄遣いをなくし駅舎の建て替えと平面化を急ぐことをお願いして質問に入ります。

(2面へつづく)

#### 市民のみなさまへ〜私の決意〜

「一人ひとりが大切にされる人間尊重社会の実現」という理想を掲げ、私はこの7年半全ての市議会本会議に質問や討論で登壇し「大切な税金を直接市民のために使う松山市政」へと転換させるべく努力してまいりました。  
また市議会報告通信「やまがら」を年4回の議会毎に配布して、市議会内外の活動を報告してきました。  
教育(一人親家庭などの就学援助)や子育て支援(子どもの医療費支援)にお金を使わない(県内20市町中最下位...全国48中核市中も最下位)市政執行部の予算編成に対し、全く議論も行わず市長提案に「賛成」しかない与党議員が大勢を占める中、少子高齢化人口減少に歯止めをかけ、教育の機会均等を保障するよう政策の転換を要求した他、幹部職員による「未だ領収書提出の義務づけがない」不要で不正な出張や税金使い放題の私物化に對して不正の温床を取り除くべく、議会で厳しく追及するなど孤軍奮闘してまいりました。  
またJR松山駅周辺再開発においては、1時間に数本の列車しか走らない予讃線には、全く不要な鉄道高架事業に固執したため、工期は大幅に遅れ、土木業者や政治家だけが喜ぶ386億円の税金の無駄遣いをするだけでなく、2017愛媛国体に間に合わず公約を守るところか、未だに新しい駅舎や駅前広場は影も形もありません。  
(高架にせず、駅舎と広場の再開発だけなら、とつくに松山の表玄関JR新松山駅が完成していた)  
このような市民感覚では有り得ない、市政幹部の「公務員特権意識」を変えさせなければ、相変わらずの官民癒着や職員不祥事、そして無駄遣いの典型であるコンクリート大好き市政が続いていきます。  
松山の元氣を取り戻すためには、市長提案に討論もせず「賛成」しかない「不要な議員」をつくらず、市政監視能力を持つ議会に変えて「市民の大切な税金が直接市民のために使われる市政」の実現をはかることだと確信しています。  
今後ともご支援を宜しくお願いします。

松山市議会議員 梶原ときよし

### HPでは梶原の活動予定や全定例議会での質問登壇が動画でご覧いただけます。

市政他、何でも相談をお受けしています。ご連絡ください。

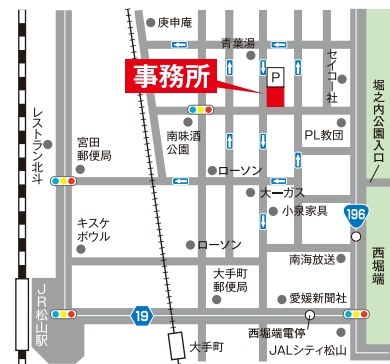
ホームページ 梶原ときよし 公式ホームページ 検索

### 梶原ときよし事務所

〒790-0813 松山市董町2丁目1-2  
TEL 089-947-2258 FAX 089-947-2259  
携帯 080-5669-8586  
E-mail sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp

●午後1時~午後5時まで(月~木)  
●金・土・日・祝日はお休みです。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



# 議会質問

2017年  
9月4日

9月議会一般質問より抜粋

## あなたは許せますか？

### 子育て支援にお金を使わない野志市政！？ 県下20市町中、最下位…全国48中核市中でも最下位！！

#### 梶原議員

野志市長が子育て支援(子どもの診察、通院医療費助成)にお金を使わないのはなぜなのか。県下20市町中最低位！全国48中核市中でも子育て支援が最下位は松山市民に申し訳ないと思わないか？

市長の「やる気」を質問します。

本市が子どもの医療費の入院助成を、中学校卒業までに拡大無料化したのが2015年で、これも県内20市町中最後の導入でしたが、診察や通院の無料化は、まだに就学前までしか行っていません。

一部条件はありますが、県内20市町中18市町は中学校卒業までの間、診察や通院の医療費助成がなされている現状の中、本市では他の市町と比べ小・中学校合わせて9年間もの間、余分に医療費負担が子どもたちに掛かっています。

子育て世代にとって「安心して子育てができるまち」とは、とても言い難い現状ではないでしょうか。

市長は、この県内でも、あるいは中核市48

市の中でも最下位、最悪の子ども医療費助成を改め、即刻無料化するべきではないか。

#### 子ども・子育て担当部長の答弁

本市では、入院の医療助成費を中学3年生まで、通院については、未就学児までではありませんが、これは、年齢が低い子どもほど抵抗力が少なく、病気がかかりやすいため、限られた財源の中でも、最大限の努力をし、この年齢層の子どもを育てるすべての家庭が安心して受診できる環境を整えているものです。一方、本市が仮に、中学3年生まで通院費を無料化する場合には、試算すると、毎年約7億円の財源が必要となります。

本市の子育て世代の市民は、市政は「こんなものだ」と諦めていたり、また他の市町と比べる機会が、余りないので、この不利益な事実を知らされていません。

そのために、行政が支援するべき7億円の医療費が子育て世代の市民負担として、(のし)掛かっています。

## 幹部職員の収賄容疑に絡み、複数の職員が警察から事情聴取を受けた 産業経済部 観光・国際交流課元職員が公務員倫理違反行為について

#### 梶原議員

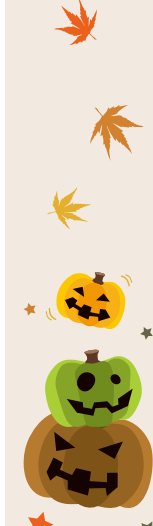
元職員は特定の女性職員と2010年度から2012年度の3年間に、実に48回も二人で出張に行っています。

ちなみに2010年度だけを取り出してみると、本人出張回数53回(92泊145日間)。内一人での出張は14回(23泊39日間)。

特定職員以外の課員7人とは24回(29泊51日間)。そして特定女性職員とは15回(40泊55日間)も二人きりで出張に行っています。

①元職員の年間仕事日数が220日として、出張が145日であれば通常の勤務日数はわずか75日しかない事を含め、異常な勤務実態ではないか。

②また今回私が指摘した特定女性職員と二人での7泊8日の同伴出張は、論外としても、長期に女性職員を拘束する出張命令は、セクハラを含むパワハラにならないように細心の注意が必要であり、特に男女二人での長期出張命令は、基本的にやめるべきではないか。また、ワークライフバランスの観点からも、仕事への配慮が足りないのではないか。以上公務員倫理と社会的通念に照らして、恥ずかしくない答弁を求めます。



#### 産業経済部長の答弁

執行リporterとして多くの出張が伴う勤務を行っていました。本市では、出張を勤務内容にあわせ、男女の区別なく適切に人選して行っており、可能なかぎり、負担にならないよう、ワークライフバランスにも配慮しています。

#### 梶原議員

元職員を含め、職員が出張に行った確認証拠記録はあるのか。

#### 産業経済部長の答弁

旅行命令に対しては、その都度報告を受け、実施内容を確認しています。なお今回、記録が残る直近5年分を確認したところ事務処理の一部に不備がありました。

ほとんどの出張には行ったかどうかを確認する証拠記録はありません。

おまけに、予讃線・新幹線・スーパーゼットの他、宿泊費を含め、領収書など一枚の添付もありません。

不要な出張・カラ出張・同伴出張と何でもありです。

余りにひどい!! 税金使い放題の職員特権天国!! 許せません! \*



梶原ときよし(ネットワーク市民の窓)



2017年9月議会も一般質問で登壇しました。  
(本議会全定例会 7年半:30議会連続登壇:記録更新中)

本市の職員不祥事再発防止のため  
全ての出張を含め領収書の添付を  
義務化するべきではないか。

#### 梶原議員

出張精算書に交通費や宿泊費の領収書がひとつも添付されていないが、義務付けていないのは何故か。  
ここに、不正の温床があるのではないか。

#### 総務部長の答弁

本市の旅費制度は、松山市職員等の旅費に関する条例を制定し、運用しています。原則として定額を支給しており、領収書の添付は不要です。

#### 梶原議員

全国で地方議員の政務活動費不正が発覚する中、私たち議員を含め全ての公務員は、市民の皆さんの血税をいただき、働き活動する以上、その必要経費を含め、全ての業務内容を明らかにしなければなりません。

残念ながら、いまだ本市職員の出張記録や出張精算には移動手段・移動経路の記入や宿泊費、交通費などの領収書添付が義務付けられてなく、不透明なまま放置されています。こんなことは絶対にあってはなりません!!

職員不祥事再発防止のためにも、領収書添付の義務化を即刻実施するべきだと考えますが、市長の決意ある答弁を求めます!

#### 総務部長の答弁

旅費制度については、時代の変化に的確に対応するとともに業務の効率化を推進するため、領収書も含めた旅費制度の点検と見直しに引き続き努めてまいります。

職員特権をやめるとは言わない野志市長! どうやら不祥事は防止するのではなく、隠すことに決めているようです!